

平成19年度 第3回 横浜市救急医療検討委員会 次第

平成20年 3月12日(水)

午後7時から

横浜市救急医療センター 3階研修室

1 開 会

2 第2回救急医療検討委員会議事録・発言集

3 報 告

(1)「よこはま保健医療プラン(試案概要版)」について(資料1)

(2)「横浜市救急条例」について(資料2)

(3)「平成20年度救急医療関係予算(案)」について(資料3)

4 議 事

(1)休日等の初期救急医療体制について(資料4)

(2)救急医療の喫緊の課題について(資料5)

5 その他

平成 19 年度横浜市救急医療検討委員会委員名簿

	氏名	選出区分	現職・履歴等
1 ◎	今井 三男 いまい みつお	医療関係者	横浜市医師会長
2 ○	荏原 光夫 えばら みつお	医療関係者	横浜市病院協会会長
3	越智 登代子 おち とよこ	市民	ジャーナリスト
4	鈴木 範行 すずき のりゆき	医療関係者	横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター長
5	高井 佳江子 たかい かえこ	有識者	弁護士
6	田口 進 たぐち すすむ	医療関係者	昭和大学横浜市北部病院長
7	丹羽 勝子 にわ かつこ	市民	オフィスポケット株式会社 代表取締役
8	野崎 正之 のざき まさゆき	有識者	横浜市小児科医会会長
9	古谷 正博 ふるや まさひろ	医療関係者	横浜市医師会常任理事
10	宮川 政昭 みやかわ まさあき	有識者	横浜内科学会会長
11	吉井 宏 よしい ひろし	医療関係者	横浜市病院協会副会長
12	吉原 克則 よしはら かつのり	有識者	東邦大学大森病院 救命救急センター部長
13	渡辺 古志郎 わたなべ こしお	医療関係者	横浜市立市民病院長

五十音順；敬称略

◎ 委員長

○ 副委員長

平成 19 年度 第 2 回 横浜市救急医療検討委員会 会議録

議 題	心疾患及び脳血管疾患の救急医療体制に関する専門部会報告を受けての検討
日 時	平成 19 年 8 月 7 日(火) 19 時から 20 時まで
場 所	市庁舎 5 階 特別会議室
出 席 者	今井委員、荏原委員、越智委員、鈴木委員、高井委員、丹羽委員、野崎委員、古谷委員、宮川委員、吉井委員、吉原委員、渡辺委員
欠 席 者	田口委員、高井委員
開催形態	公開（傍聴者 4 人）
決定事項	脳血管疾患及び心疾患の救急医療体制について専門部会の報告を受け、第 3 次提言として取りまとめることとなった。
議 事	1 専門部会報告 (1) 心疾患の救急医療体制について (2) 脳血管疾患の救急医療体制について 2 委員による検討 (1) 脳血管疾患及び心疾患の救急医療体制について (発言要旨は後日ホームページに掲載) (2) 今後のスケジュール等について
資 料	別紙

第2回 救急医療検討委員会 発言集（要旨）

○ 心疾患の救急医療体制に関する専門部会報告を受けての検討について

- ・ 心疾患の輪番病院の他に、地域中核病院や救命救急センターが対応している事例もみられるため、実態としては、輪番を担う病院数が十分ではないという量的な問題と、現状の輪番病院の診療レベルから十分な受入ができないという質的な問題の両面に問題がある。
- ・ 現状では市内に 16 箇所の心疾患輪番病院と救命救急センターが存在しており、全国的にも恵まれている。
- ・ 心電図伝送システムの活用やドクターカーの活用なども合わせて考える必要がある。

○ 脳血管疾患の救急医療体制に関する専門部会報告を受けての検討について

- ・ 市民の t-PA に関する関心はあるものの、t-PA の適用症例が少ないことや診療体制が十分確立できていない現状にある。
- ・ 救急隊と病院が、双方でさらなる情報共有を図ることで、診療開始時間の短縮や適切な医療提供を図ることができるようになる。
- ・ 救急隊には、患者の状況判断が適切に行えるような研修等がさらに必要である。
- ・ t-PA の治療を行うことができる医療機関は、今後公開するなどの方式をとるとよい。
- ・ 初期の救急医療機関においても現在、地域の中で、地域中核病院と連携するなどの取り組みを行っており、脳血管疾患の救急医療提供体制の中で果たすべき役割がある。